

おぼら 秋田県議会議員〈横手市選出〉

小原まさてる

3人の子育て真っ最中(高校生1人、小学生2人)。
4世代9人家族で暮らし、介護の現場も毎日経験。
子どもたちの健やかな育ち、親世代の穏やかな老後を支え、
次の世代に誇れるふるさと横手市をつないでいきます。



〈プロフィール〉横手市生まれ。秋田ふるさと村、道の駅十文字の社員を経て、34歳で秋田県議会議員に初当選。現在2期目。〈主な役職〉秋田県議会産業観光委員／観光産業振興議員連盟幹事長／スポーツ振興議員連盟会計／秋田県農業を応援する議員連盟幹事／森林林業林産業活性化推進議員の会幹事／ボーイスカウト秋田連盟議員懇談会幹事／世界遺産登録推進議員連盟幹事

「ふるさとと横手」を。
次の世代に誇れる。

働き盛り!
41歳

ごあいさつ

皆様のお力添えをいただき、初当選させていただいてから7年、県議会議員として働かせていただきました。1期目は、とにかく「何とかしなければ」という思いで、がむしゃらに取り組んでまいりましたが、2期目に入り、全体的な視野が広がったこともあって、取り組む範囲も多岐にわたってまいりました。

しかしながら、思い描く政治はまだまだ道半ばです。この“ふるさと横手”を次の世代につなげる。そのために、市民県民の味方であることを徹底し、地域で暮らす人たち、地域を支えるために働き、納税している人たちの立場に立った政治を実現してまいります。

人口減少、少子高齢化日本一の秋田は待ったなしで、“ふるさと横手”も例外ではありません。慣れたり、こなしたりすることなく、若い力と行動力で、これからも全力で働いてまいります。

今年も皆様のご指導を心よりお願い申し上げます。

秋田県議会議員 小原 正晃



小原まさてるは、これからも初心を忘れずに。

県議会で
新党派「次の世代につなぐ会」
を立ち上げました。

今後、従来の政党の枠組みにとらわれず、地域政党など新たな連携を進めていくため、県議会で新党派「次の世代につなぐ会」を立ち上げました。今を生きる私たちのためだけでなく、次の時代を生きる世代を考えた政治に取り組んでいきます。

皆様の税金を原資とした
政務調査費を
大切に使用させていただきました。

全国的にも問題になっている地方議員の政務調査費。外部のチェックを入れるため、第三者機関の設置を求める条例案を提出しました(自民党などの反対により否決)。自身としては、経費節約・自費活動で、計600万円以上返還できました。

市民の一人として、
これからも地域の活動を
大切にします。

県議会議員である前に一人の市民。地域を支え、地域の伝統を引き継ぐ取り組みに、積極的に参加していきます。そして、そこで感じる地域の実情があってはじめて、議員としての実のある活動に活かしていけるのだと考えています。



スポーツ振興に取り組んでいます



民進党大塚代表への要望活動



立憲民主党 岡本代議士との意見交換



さくらんぼの生育状況を視察



各種要望を伺っています



労働者の立場に立った活動を続けています



消防団活動に取り組んでいます

小原まさてるは、議会でこんなことを取り上げています。

平成28年2月議会一般質問

- ① 教育の無償化について
- ② 奨学金制度について
- ③ グローバル人財の育成について
- ④ リノベーションによるまちづくりについて
- ⑤ 食品表示制度への対応について
- ⑥ 極良食味米戦略について
- ⑦ 児童生徒の健康支援について
- ⑧ 民生委員の活動支援について



トピックス

○教育の無償化について

少子高齢化日本一の秋田県において、市町村と連携しながら、第一子からの保育料無償化や給食費の無償化など、これまで以上に総合的で思い切った対策が必要。

○食品表示制度への対応について

包装された加工食品に栄養成分の表示が義務化されたことにより、食品事業者の負担が増すことから、県内食品産業の振興のためにも、県として後押しや事業者への支援が必要。

○極良食味米戦略について

平成34年度販売開始を目標に進められている極良食味米について、全国的に見れば後発であることから、他県の取り組みを参考に、今から戦略を練っておくべき。また、健康やカロリー、栄養など、別の視点からの投資も必要。

平成29年12月議会一般質問

- ① 災害時の交通規制への対応について
- ② 床下浸水への支援について
- ③ 突風被害への対応について
- ④ 救命ボートの整備について
- ⑤ 自主防災組織の組織率向上と活動活性化について
- ⑥ 県立衛生看護学院の大学化について
- ⑦ 県の記念日の休日化について
- ⑧ 地上配備型ミサイル追撃システムの配備について

〈横手市にも大きな被害をもたらした平成29年7月の大雨災害〉



横手市の被害状況		
人的被害	軽傷	3
	道路冠水	34
	土砂崩れ	74
家屋被害	床上浸水	211
	床下浸水	442
	半壊	4
	その他	92

トピックス

○災害時の交通規制への対応について

今年7月の豪雨では土砂崩れや冠水などで各所が通行止めとなり、立ち往生する事例が発生した。住民の安全・安心のためには、通行止め箇所や通行可能な道路の迅速な情報発信や案内が不可欠。

○県立衛生看護学院の大学化について

雄平仙地域への大学設置は、地域住民からの要望も強く、県土の均衡ある発展を目指すうえで有効であると考え。横手市にある県立衛生看護学院を「県立大学の看護学部」として大学化できないか。

○県の記念日の休日化について

県の記念日を「県民の日」として休日にするにより、県民がより身近に県を考え、郷土愛を育む契機になると考える。県独自の休日の制定でもあり、全国に先駆けた先進的な事例にもなるのではないか。

これらの質疑は秋田県議会ホームページにて、パソコン・スマートフォンから動画をご覧ください。 [秋田県議会 Q → 議会中継 → 小原正晃](#)

小原まさてる 2期7年の主な取り組みと進捗状況

農業

- ・農産物の販路拡大と輸送支援 **進展**
- ・戸別所得補償制度廃止後の支援
- ・農業法人の活性化に向けた支援 **進展**
- ・商談機能を持った首都圏直売所の設置
- ・六次産業化への支援 **進展**

子ども・子育て支援

- ・子育て世代への支援拡大 **進展**
- ・子どもの貧困対策 **進展**
- ・育英会奨学金の利便性向上 **進展**
- ・学校給食の地産地消率向上 **実現**
- ・若者の海外武者修行支援

観光・スポーツ

- ・発酵食品を活用した観光振興 **進展**
- ・ふるさと村のサービスエリア機能化
- ・サッカー専用スタジアムの整備 **進展**
- ・県民のスポーツ活動支援
- ・ゼニタナゴの保護と条例化 **実現**

企業・働くこと

- ・県内業者への優先発注 **進展**
- ・中小企業振興条例の制定 **実現**
- ・企業誘致における本社機能の誘致 **一部実現**
- ・秋田の働き方改革と労働環境の整備 **進展**
- ・シニア世代の仕事づくり **進展**

医療・介護

- ・医師の確保とへき地医療の維持 **進展**
- ・看護師、介護士への支援
- ・認知症対策と家族へのサポート強化 **進展**
- ・民生委員の活動支援 **進展**
- ・ドクターカーの整備

暮らし

- ・NPOの活動支援 **進展**
- ・消防団の活動支援と全国大会の誘致 **実現**
- ・豪雪対策と共助支援 **進展**
- ・県道の整備拡充や信号設置 **進展**
- ・リフォーム助成制度の拡充 **進展**

次の世代に誇れる「ふるさと横手」を。

